

製品名: CD307 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08350**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、ラット、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000 |
| 分子量 | 110kDa |

抗原情報

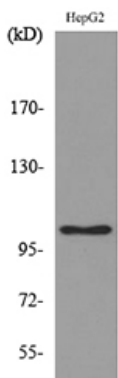
| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | FCRL5 |
| 別名 | FCRL5; FCRH5; IRTA2; Fc receptor-like protein 5; FcR-like protein 5; FcRL5; BXMAS1; Fc receptor homolog 5; FcRH5; Immune receptor translocation-associated protein 2; CD307e |
| 遺伝子 ID | 83416.0 |
| SwissProt ID | Q96RD9 |
| 免疫原 | 抗血清は、ヒト FCRL5 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 191-240 |

背景

この遺伝子は、免疫グロブリン受容体スーパーファミリーおよび Fc 受容体様ファミリーのメンバーをコードします。この遺伝子と他のいくつかの Fc 受容体様遺伝子メンバーは、1 番染色体長腕にクラスターを形成しています。コードされるタンパク質は I 型膜貫通型タンパク質であり、8 つの免疫グロブリン様 C2 型ドメインを含みます。この遺伝子は B 細胞の発生およびリンパ腫形成に関与しています。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが同定されています。[RefSeq 提供、2010 年 9 月]、疾患: 1q21 異常を伴うバーキットリンパ腫 (BL) 細胞株において、FCRL5 に関連する染色体異常が認められます[MIM:113970]。重複 dup(1)(q21q32)。ドメイン:免疫受容体チロシン阻害因子モチーフ (ITIM) と呼ばれる細胞質モチーフを 2 つ含む。機能:末梢リンパ器官における B 細胞の発達と分化に関与し、B 細胞の分化段階の有用なマーカーとなる可能性がある。辺縁帯 B 細胞において免疫調節の役割を果たす可能性がある。類似性:8 つの Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを含む。組織特異性:辺縁帯 B 細胞、免疫芽細胞、扁桃の胚中心中心細胞、および扁桃の上皮内および濾胞間領域で発現する。多くのリンパ腫細胞株および有毛細胞白血病細胞で発現する。アイソフォーム 1、アイソフォーム 3、アイソフォーム 4、アイソフォーム 5 は、リンパ節、脾臓、骨髄、小腸で検出され、アイソフォーム 3 が優勢です。成熟 B 細胞およびメモリー B 細胞で発現し、胚中心細胞ではダウンレギュレーションされます (タンパク質レベル)。

研究分野

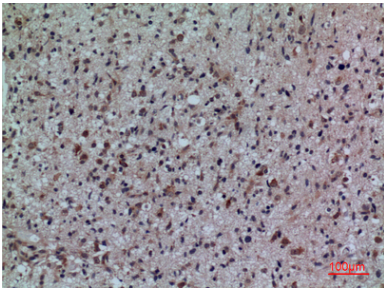
画像データ



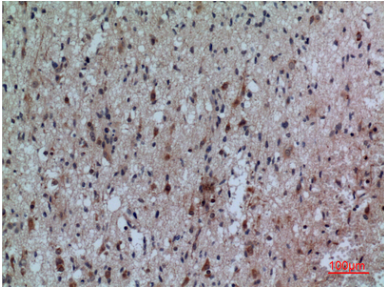
FCRL5 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解液のウェスタン ブロット分析。



CD307 ポリクローナル抗体を用いた HepG2 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈されました。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された